

2026. 3. 27

「浜松アクトタワー」に関するお知らせ ～地域の象徴的資産を未来へつなぐ取り組み～

SFG 不動産投資顧問(社長 渡邊敬博/金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第 203 号/投資助言・代理業/加入協会:一般社団法人日本投資顧問業協会)では、「不動産私募ファンド」を活用した地域活性化支援に取り組んでいます。

今般、地域の持続的な発展に資する取り組みの一環として、SFG 不動産投資顧問がアセットマネジメント業務を受託するファンドにおいて、浜松市中央区に所在する「浜松アクトタワー」に係る信託受益権を取得しましたので、その概要をご案内します。

1. ファンドの概要

投資家(出資)	セキスイハイム東海、静岡銀行、呉竹荘、須山建設、SFG 不動産投資顧問
金融機関(融資)	商工組合中央金庫、大垣共立銀行、清水銀行、名古屋銀行、あいち銀行、山梨中央銀行
アセットマネージャー※	SFG 不動産投資顧問

※資金調達への検討や売買・賃貸・管理における助言等、投資家への報告等を実施する事業者

2. 取得資産の概要

対象資産	信託受益権(物件名:浜松アクトタワー/静岡県浜松市中央区板屋町 111 番地の 2)
売買契約	契約締結日:2026年3月10日 売主:オリックス不動産投資法人 / 買主:アクト合同会社
取得日	第1回:2026年3月27日(40%の準共有持分) 第2回:2026年9月1日予定(60%の準共有持分)

【浜松アクトタワー】

- 浜松アクトタワーは、JR 浜松駅至近に立地し、優れた視認性と交通利便性を有する県内最高層のランドマークタワーです。オフィス・ホテル・商業機能等を備えた大規模複合施設として、地域の経済・文化活動を支えてきました。
- 1994 年に浜松駅前再開発「アクトシティ浜松」の一環として整備されて以降、長年にわたり地域の象徴的な存在として、地域の皆さまに親しまれており、今後も重要な役割を担い続ける資産であると認識しています。



3. 取り組みの背景

- 近年、地方都市においては、人口減少や都市機能の分散、建物の老朽化などを背景に、地域の中核となる不動産の持続的な維持・活用が重要な課題となっています。とりわけ駅前の象徴的な大型施設については、その安定的な運営と価値の維持・向上が、地域経済やにぎわいの創出に大きく関わっています。
- こうしたなか、しずおかフィナンシャルグループでは、「地域社会の健全な成長」および「産業発展と金融イノベーション」を重要課題(マテリアリティ)として掲げています。本件は、地域のシンボルである不動産の持続的な活用に向け、関係者の皆さまと連携しながら取り組んでいくものです。
- SFG 不動産投資顧問は、アセットマネジメント機能を通じて、本物件の持続的な活用と魅力の向上に寄与するとともに、地域のにぎわいと活力の創出に取り組んでまいります。

本資料は、お知らせを目的に作成した資料で、金融商品取引法に基づく開示書類及び金融商品取引契約の勧誘に関する資料ではありません。

本資料の内容は、金融商品取引法上の投資助言業務を除き、金融商品取引業、宅地建物取引業その他何ら法律上の許認可、登録、届出等を必要とする行為に関するものではありません。また、当社は本資料の提供によって、規制対象行為を行うものではありません。

未来がはじまる場所になる。



しずおかフィナンシャルグループ